



兵庫労働局発表
平成25年4月26日

報道関係者 各位

[照会先]

兵庫労働局労働基準部

安全課

課長 高尾 聡

主任安全専門官 古谷 勝一

TEL 078-367-9152

FAX 078-367-9166

兵庫県内における平成24年の労働災害発生状況

～労働災害による死傷者は3年ぶり減少も、死亡者数は大幅に増加～

兵庫労働局ではこのほど、兵庫県内における平成24年の労働災害のうち、死傷災害、死亡災害の発生状況を取りまとめましたので、公表します。

平成24年の労働災害による死傷者数は4670人となり、3年ぶりに減少に転じました。他方、死亡者数は43人（対前年比16.2%増）と大幅に増加するという残念な結果となりました。

1 平成24年の死傷災害発生状況（表1）

- ・平成24年の労働災害による死傷者数（死亡者及び休業4日以上の方）は4,670人。
- ・業種別では、製造業（1,271人）、商業（684人）、建設業、陸上貨物運送業（556人）が多い。また、平成23年と比べると、商業（29人増）、その他の事業（19人増）、交通運輸業（18人増）などで増加。

2 平成24年の死亡災害発生状況（表1、表2）

- ・平成24年の労働災害による死亡者数は43人。
- ・業種別では、建設業（16人）、製造業（9人）、その他の事業（5人）が多い。また、平成23年と比べると、建設業（5人）、その他の事業（4人）、畜産・水産業（2人）、清掃・と畜業（1人）で増加。
- ・事故の型別では、墜落・転落（12人）、交通事故（9人）、はさまれ・巻き込まれ（5人）の順に多い。

兵庫労働局では、平成25年の労働災害による死傷者数を対前年比5%以上減少させることを目標に、特に第三次産業、陸上貨物運送事業を重点業種として指導を実施するとともに、死亡災害を始めとする重篤な労働災害を減少させるため、建設業における墜落・転落災害の防止、製造業における機械災害防止対策等に取り組むこととしています（主な対策は別紙のとおり）。

(別紙)

- 平成 25 年の労働災害減少対策について、「兵庫第 12 次労働災害防止推進 5 か年計画」において、平成 29 年において、死亡災害による死亡者数及び休業 4 日以上之死傷者数を、それぞれ 15%以上減少させることが目標とされ、また、平成 22 年 6 月に閣議決定された新成長戦略においても、平成 32 年までに労働災害発生件数を 3 割減少させることとされている中であって、平成 25 年度においては、死傷者数の前年比 5%の減少を目標 (4,436 人以下) として取り組む。

1 労働災害多発分野における対策

(1) 労働災害を減少させるための重点業種

ア 小売業、社会福祉施設、飲食店

転倒災害、災害性腰痛等作業行動に伴うものが大半を占めていることから、安全衛生管理体制の確立・整備及び経営トップの参画、パートタイム労働者など非正規労働者を含めた安全衛生に関する職場ルールの遵守を図るとともに、日常的な安全衛生活動の定着を推進する。

イ 陸上貨物運送事業

労働災害のうち、約 7 割が荷役作業時に発生し、墜落・転落がその 3 割を占めていることから、荷主等に対し、「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」の周知を図り、安全な作業環境の整備、走行や荷役作業の負担のかからない適正な発注条件の確保を促進する。

(2) 重篤な労働災害を減少させるための重点業種

ア 建設業

死亡者の約 4 割を占める墜落・転落災害の防止のため、引き続き「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱」の推進を図るとともに、新規入場者教育を始め、安全衛生教育の効果的な実施や自主的安全衛生活動の強化が図られるよう、各建設現場の統括安全衛生管理の徹底を図る。

さらに、建設工事の発注機関に対し、工費の積算において、元請を始め関係請負人が安全衛生を確保するために十分な経費を見込むように働きかける。

イ 製造業

機械災害発生時の原因究明及び本質安全化を指導するとともに、リスクアセスメントの取組の徹底を図る。また、化学設備設置事業場について、安全衛生管理体制の整備、設備等の適切な管理等について指導を行う。

2 自主的な安全衛生活動の促進

労働災害防止のためには、法令の遵守徹底だけでなく、効果的な自主的安全衛生活動の促進が重要であることから、リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムの普及促進を図る。

3 労働災害防止強化月間の取組

(1) 「建設業労働災害防止強化月間」(7月)

公共工事発注機関との連絡会議の開催、安全パトロールの実施等関係者が一体となった取組を実施する。

(2) 「秋の交通労働災害防止運動」(9月)

労働災害防止団体等に交通労働災害防止運動の取組を要請するとともに、事業場に対して、「交通労働災害防止のためのガイドライン」に沿った取組を指導する。

平成24年の労働災害の発生状況

※労働者死傷病報告(休業4日以上之死傷災害)により作成
 ※()内の数値は死亡者数(内数)を表す

【表1 業種別の労働災害発生状況】

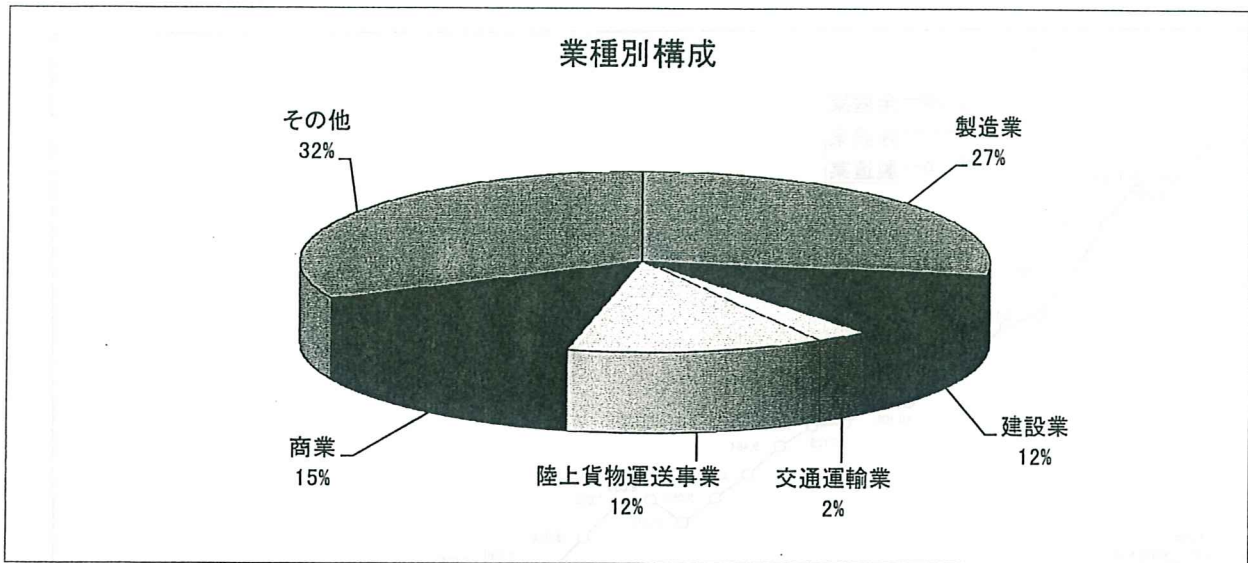
業 種	平成24年		平成23年		前 年 比 較	
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全 産 業	4,670 (43)	100.0% (100.0%)	4,749 (37)	100.0% (100.0%)	-79 (6)	-1.7% (16.2%)
製 造 業	1,271 (9)	27.2% (20.9%)	1,339 (11)	28.2% (29.7%)	-68 (-2)	-5.1% (-18.2%)
鉱 業	11	0.2% ()	9	0.2% ()	2 ()	22.2% (-)
建 設 業	556 (16)	11.9% (37.2%)	578 (11)	12.2% (29.7%)	-22 (5)	-3.8% (45.5%)
交 通 運 輸 業	117 (1)	2.5% (2.3%)	99 (1)	2.1% (2.7%)	18 ()	18.2% ()
陸上貨物運送事業	556 (4)	11.9% (9.3%)	549 (4)	11.6% (10.8%)	7 ()	1.3% ()
港 湾 運 送 業	33	0.7% ()	30 (1)	0.6% (2.7%)	3 (-1)	10.0% (-100.0%)
農 林 業	93 (1)	2.0% (2.3%)	83 (2)	1.7% (5.4%)	10 (-1)	12.0% (-50.0%)
畜産・水産業	25 (2)	0.5% (4.7%)	12	0.3% ()	13 (2)	108.3% (-)
商 業	684 (2)	14.6% (4.7%)	655 (4)	13.8% (10.8%)	29 (-2)	4.4% (-50.0%)
金 融 ・ 広 告 業	41	0.9% ()	58	1.2% ()	-17 ()	-29.3% (-)
映 画 ・ 演 劇 業	2	0.0% ()	2	0.0% ()	()	(-)
通 信 業	69	1.5% ()	98	2.1% ()	-29 ()	-29.6% (-)
教 育 ・ 研 究 業	44	0.9% ()	42	0.9% ()	2 ()	4.8% (-)
保 健 衛 生 業	402 (1)	8.6% (2.3%)	394 (1)	8.3% (2.7%)	8 ()	2.0% ()
接 客 娯 楽 業	296	6.3% ()	326	6.9% ()	-30 ()	-9.2% (-)
清 掃 ・ と 畜 業	245 (2)	5.2% (4.7%)	262 (1)	5.5% (2.7%)	-17 (1)	-6.5% (100.0%)
官 公 署	1	0.0% ()	8	0.2% ()	-7 ()	-87.5% (-)
そ の 他 の 事 業	224 (5)	4.8% (11.6%)	205 (1)	4.3% (2.7%)	19 (4)	9.3% (400.0%)

表2

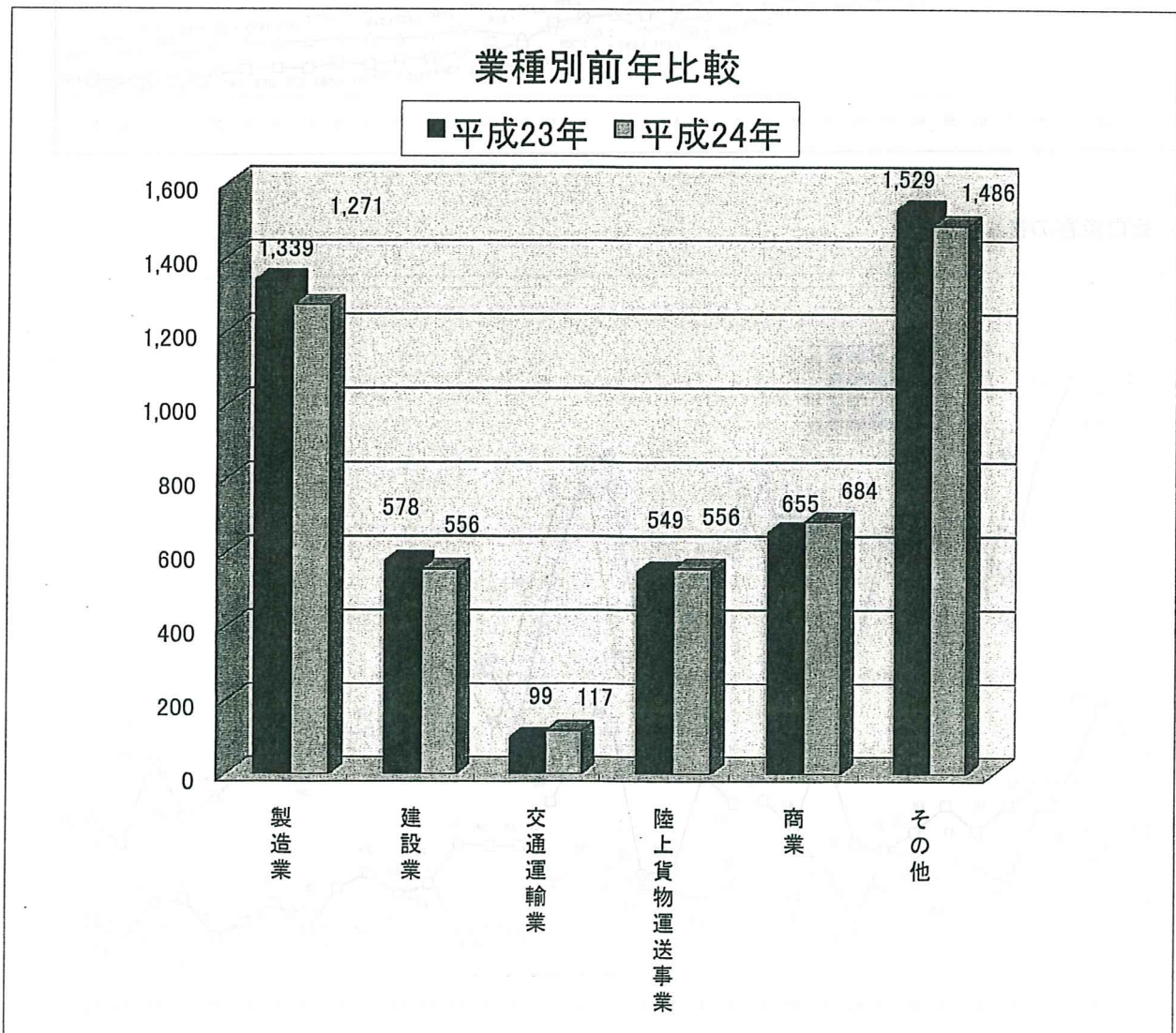
事故の型別死亡災害発生状況

墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊倒壊	激突され	はさまれ巻き込まれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物との接触	感電	交通事故	その他	計
12	1	0	4	2	3	5	0	2	0	1	3	9	1	43

【図1】



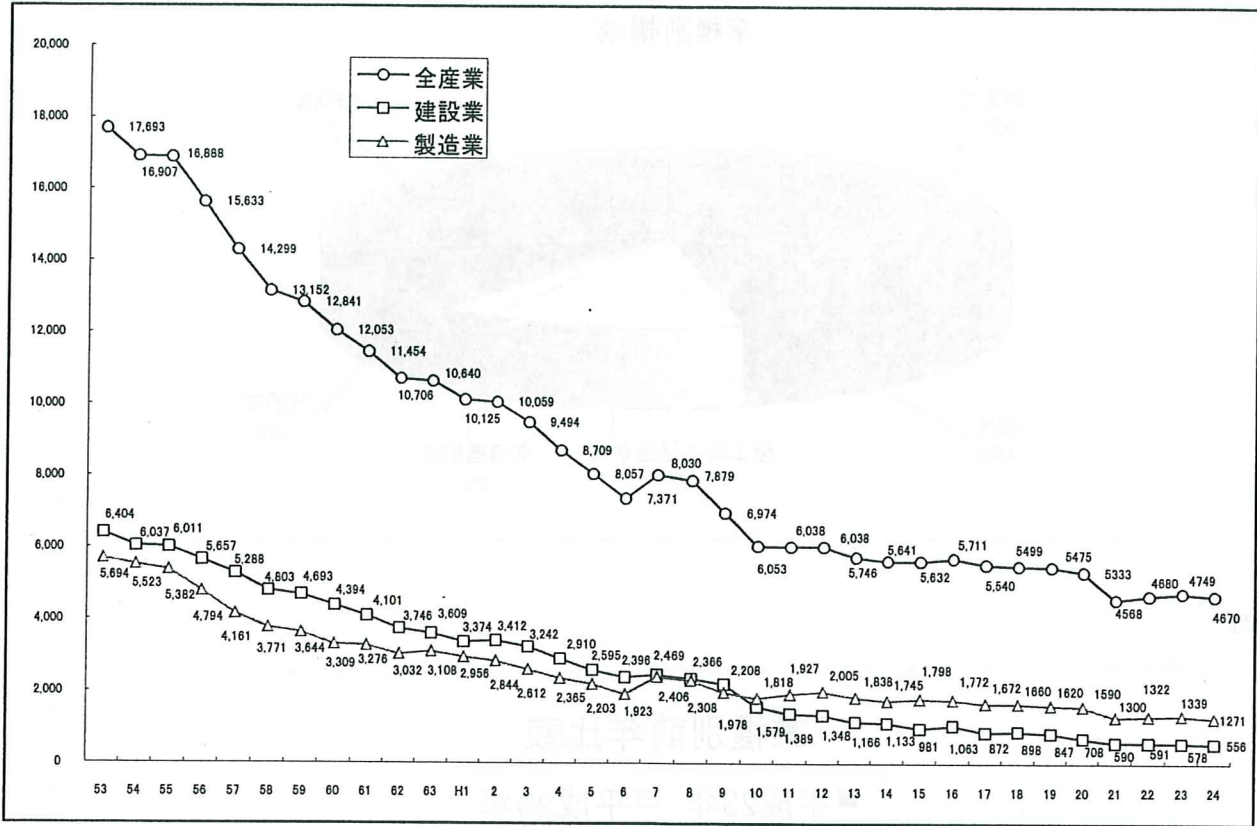
【図2】



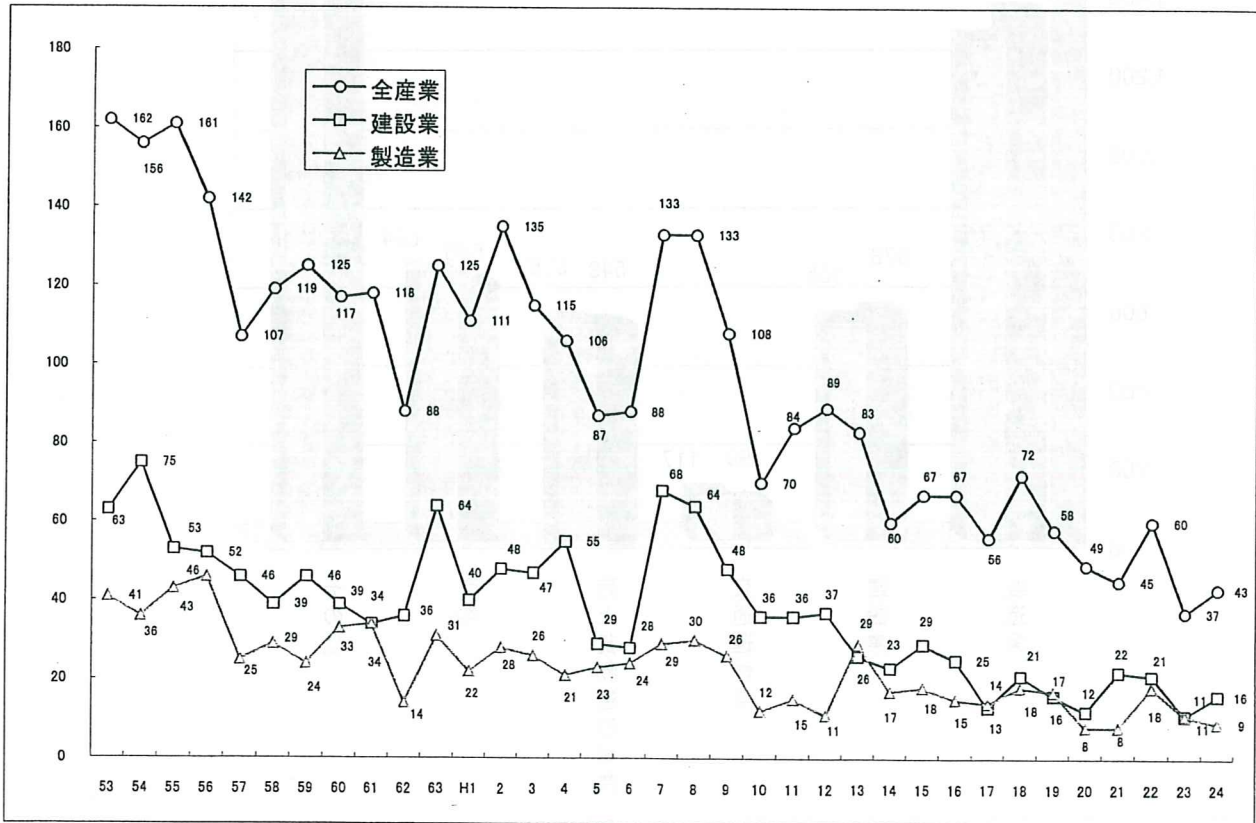
昭和53年～平成24年

【図3 死傷災害の推移】

兵庫労働局



【図4 死亡災害の推移】



平成 24 年 死 亡 災 害

件数	胃整理番号		災害発生		業 種			事故の型	起因物			発生状況概要
	署 名	番号	月日	時間	大分類	中分類	小分類	分類項目	大分類	中分類	小分類	
1	神戸西	1	1月	12時台	建設業	土木工事業	その他の土木工事業	墜落、転落	荷	荷	機械装置	当該事業場の資材置き場で、アース・オーガの推進機構部分（長さ約3メートル、直径約0.5メートル、重さ約1.5トン）のモーターの修理を行った後、通行の妨げとなるので、それを移動式クレーンを用いて移動させるために、被災者がそれにワイヤロープをかけようとその上に乗ったところ、それが被災者もろとも倒れたもの。
2	加古川	1	1月	8時台	建設業	土木工事業	道路建設工事業	激突され	動力機械	建設機械等	整地・運搬・積み込み用機械	造成地内の道路設置工事において、車両系建設機械（0.25ドラグショベル）を用いて砕石を敷き均す作業中、車両系建設機械後方でとんぼを使って砕石を均していた被災者が、後退してきた車両系建設機械に激突され死亡した。
3	加古川	2	1月	12時台	清掃・と畜業	清掃・と畜業	産業廃棄物処理業	飛来、落下	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	フォークリフト	災害発生事業場ではフォークリフトを用い、廃材置き場からリサイクル用廃材置き場に木屑等を構内運搬していたが、フォークリフト技能講習の資格を有しない運転者が、当該フォークリフトを運転中に、回転式アタッチメントを使って縦1メートル、横4メートルの鉄製の籠を縦向きにしていたが、爪から外れ落下、周辺で分別作業をしていた被災者に激突、被災者が下敷きになり約2時間後死亡した。
4	加古川	3	1月	14時台	製造業	金属製品製造業	洋食器・刃物製造業	はさまれ、巻き込まれ	動力機械	金属加工機械	シャー	被災者は一人で事業場敷地内の鉄工場の屋外外壁際に設置されたシャーを用いて鉄板の切断作業をしていたが、午後2時台に会社社員の男性が付近を通りかかったところ、シャー下部の動力を伝達する回転軸とテーブル下面に巻き込まれた状態の被災者を発見したが既に死亡していたもの。
5	尼崎	1	2月	15時台	建設業	建築工事業	その他の建築工事業	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等	仮設物・建築物・構築物等	建築物、構築物	商店街のアーケード解体工事において、アーケード屋根上部にある消防用の消火足場の解体撤去準備のために消火足場の部材及び付設している消火管の一部を切断する作業を2名で行っていたところ、1名が切断用電動鋸の刃を交換するためにアーケードより降りた後、残った被災者が消火足場上で電線等の廃材の片づけ作業を行っていたところ、消火足場上からアーケード屋根を破り約7.3m下の地上に墜落したものの。
6	神戸西	2	1月	9時台	保健衛生業	社会福祉施設	社会福祉施設	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	トラック	被災者が事業場から職場のバイクにより介護者宅に向かう途中、市道交差点において出会い頭にトラックと衝突したものの。
7	西宮	1	2月	10時台	建設業	土木工事業	その他の土木工事業	墜落、転落	環境等	環境等	地山、岩石	道路維持管理工事で道路沿い崖の落石防護ネット（金網）を補修するため、高さ約11メートルの法面上で落石処理をしていた被災者が墜落し、死亡したものの。被災者は同僚と2名で落石防護ネットの内側で作業しており、被災者が使用していたと思われるロリッパがネットに掛かっていた。
8	神戸西	3	3月	15時台	建設業	建築工事業	その他の建築工事業	崩壊、倒壊	仮設物・建築物・構築物等	仮設物・建築物・構築物等	建築物、構築物	木造平屋建ての納屋の解体工事中、屋根瓦を撤去し、外壁材である杉板を取り外した状態で廃材の整理を行っていたところ、突然建物が南側に倒壊し、その下敷きになったもの。病院に入院していたが死亡したものの。
9	姫路	1	4月	14時台	建設業	建築工事業	その他の建築工事業	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等	仮設物・建築物・構築物等	屋根、はり、もや、けた、合掌	倉庫（自社の倉庫）屋根点検作業中に高さ6メートルの位置から墜落したものの。
10	尼崎	2	4月	9時台	製造業	鉄鋼業	鋳物業	有害物等との接触	物質・材料	危険物・有害物等	有害物	被災者が同僚と2名で、排熱を処理する溶解熱交換器の下部内で、耐火壁の剥離片等をバケツに入れて回収する作業を行っていたところ、有毒ガス（一酸化炭素と考えられる。）にばく露し、被災者が死亡し、同僚が一酸化炭素中毒と診断され治療を受けているもの。
11	加古川	4	4月	11時台	建設業	建築工事業	木造家屋建築工事業	崩壊、倒壊	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	トラック	火災現場で焼跡の撤去作業を行っていた被災者が、横転した状態の焼けたトラックと停止していたドラグショベルのバケツの間で焼けガラを1人で片付けていたところ、焼けたトラックが倒れ、焼けたトラックとバケツとの間に挟まれたもの。

平成 24 年 死 亡 災 害

件数	署整理番号		災害発生		業 種			事故の型	起因物			発生状況概要
	署名	番号	月日	時間	大分類	中分類	小分類	分類項目	大分類	中分類	小分類	
12	但馬	1	4月	10時台	建設業	土木工事業	その他の土木工事業	墜落、転落	環境等	環境等	地山、岩石	被災者を含め3名で、有害鳥獣用防護柵の設置及び庭園の整地を斜面上で行っていたところ、被災者が斜面上より約8m下の地面に墜落したものを。
13	姫路	2	5月	15時台	建設業	土木工事業	その他の土木工事業	激突され	環境等	環境等	立木等	被災者を含め3名で、作業用通路確保のために杉（胸高直径3.5cm程度・高さ2.0m強）をチェーンソーを用いて伐倒したところ、跳ね上がり、付近で作業を行っていた被災者に伐倒木の枝（推定）が激突したものを。
14	加古川	5	2月	17時台	その他の事業	その他の事業	警備業	はさまれ、巻き込まれ	動力機械	建設機械等	締固め用機械	道路舗装工事現場において交通誘導を行っていた被災者（警備員）が、車両の誘導作業中にローラーの後方に立ち入り、アスファルト転圧中のローラーが後進したためローラー後部車輪に轢かれたものを。
15	相生	1	6月	8時台	建設業	土木工事業	土地整理土木工事業	墜落、転落	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	トラック	被災者が作業場内の表土除去作業のためにダンプトラックを運転し、表土を作業場内の指定場所へ運搬していたところ、高さ約2.6メートルの地点からダンプトラックごと転落したものを。 被災者は、運転席から投げ出され、高さ約2.0メートルの地点で発見された。
16	西宮	2	6月	1時台	運輸交通業	道路貨物運送業	一般貨物自動車運送業	はさまれ、巻き込まれ	その他の装置等	その他の装置・設備	その他の装置・設備	被災者が、配送先で荷物納品トラックヤードの閉まりかかっている電動シャッターの間から建物内に入ろうとして、電動シャッターと床にはさまれたものを。
17	姫路	3	6月	10時台	その他の事業	その他の事業	その他	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	乗物	乗用車、バス、バイク	被災者は研修参加のため、軽乗用車を運転し事業場から研修会会場へむかって県道を北進していたところ、カーブで反対車線に入った際に、南進してきたトラックと衝突したものを。
18	西脇	1	7月	19時台	運輸交通業	道路貨物運送業	一般貨物自動車運送業	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	トラック	被災者がトラックを運転して（同乗者なし、雑踏等を運搬）、東名高速道路下り線から新東名高速道路に合流する連絡路下り線を走行中、急カーブとなっているところにおいて、当該トラックが高架橋の壁（高さ約1メートル）を乗り越えて1.0数メートル下の地上に墜落したものを。
19	伊丹	1	7月	8時台	建設業	建築工事業	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	感電	その他の装置等	電気設備	送配電線等	マンションの新築工事現場において、コンクリートポンプ車で2階床のコンクリートを打設するため、躯体側へブームを伸ばしたところ、ブームの先端が高圧電線に引っ掛かり、被災者が足場上で引っ掛かったブームを外そうとしていたところ、感電して足場上に倒れたものを。
20	淡路	1	7月	8時台	その他の事業	その他の事業	その他	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等	仮設物・建築物・構築物等	建築物、構築物	魚のいけす（100kg程度）を岸壁から海面へジブクレーンを用いて降ろす作業をしていた被災者が、いけすを海面へ着床させた後、岸壁から推定約1.8m下の当該いけすの上面に墜落したものを。
21	淡路	2	8月	10時台	製造業	輸送用機械等製造業	造船業	感電	その他の装置等	電気設備	送配電線等	被災者がスポットクーラー（定格電圧200V）の修理作業を行っていた時、右手が当該スポットクーラーと電源とを接続していたキャブタイヤケーブルのジョイント部の充電部分に接触したことにより感電したものを。
22	西宮	3	7月	6時台	商業	小売業	新聞販売業	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	乗物	乗用車、バス、バイク	被災者がバイクで朝刊の配達中、歩道から車道に出た際に、右方向から直進してきた軽四輪車と衝突したものを。

平成 24 年 死 亡 災 害

件数	署整理番号		災害発生		業 種			事故の型	起因物			発生状況概要
	署 名	番 号	月 日	時 間	大分類	中分類	小分類	分類項目	大分類	中分類	小分類	
23	西脇	2	7月	13時台	製造業	パルプ・紙・紙加工品製造業	パルプ・紙	転倒	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	フォークリフト	被災者は、パルプ製品（約1t）を仮置きするため、フォークリフト（2.5t）で製品をバックで運搬走行していたところ、車体が転倒し、ヘッドガードと床面の間にはさまれたもの。
24	神戸東	1	8月	16時台	製造業	輸送用機械等製造業	造船業	おぼれ	環境等	環境等	水	水深15mの海で新人の潜水訓練を行っていた時、教官が水没し行方不明となり、後日、海底で遺体が発見されたもの。
25	西宮	4	8月	4時台	運輸交通業	道路貨物運送業	一般貨物自動車運送業	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	トラック	被災者は、中型トラックで福岡市から大阪市に向け商品を配送中、山陽自動車道入り線のサービスエリアの進入路において、トラックを駐車し仮眠していたところ、後方より大型トラックに追突されたもの。
26	神戸西	3	9月	9時台	清掃・と畜業	清掃・と畜業	その他の廃棄物処理業	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	トラック	勾配12度の坂道にバッカー車（機械式ごみ収集車）を停車させ、ごみを車両後部の投入口に投入していたところ、バッカー車が下方に動き出したため、数名で下方に回り込み停止させようとしたが止まらず轢かれたもの。
27	淡路	3	9月	9時台	建設業	その他の建設業	機械器具設置工事業	感電	動力機械	金属加工機械	研削盤、パフ盤	配管を取り替える工事において、被災者は、機械設備上部で電動式の可搬式グラインドを使用して配管（銅製）を切断していたところ、配管上に倒れ込んだもの。
29	尾崎	3	8月	6時台	商業	小売業	新聞販売業	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	果物	乗用車、バス、バイク	原動機付自転車で朝刊配達中、普通乗用車と衝突したもの。
29	加古川	7	9月	13時台	建設業	建築工事業	木造家屋建築工事業	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等	仮設物・建築物・構築物等	屋根、はり、もや、けた、合掌	スレート葺き建物の屋根材を撤去する作業中、屋根の石膏ボードを踏み抜いて約5メートルの高さから墜落したもの。
30	淡路	4	10月	6時台	畜産・水産業	水産業	その他の水産業	墜落、転落	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	フォークリフト	被災者は阿波が運搬するフォークリフトのフォークに乗り、高さ3～4mの日よけ網を直そうとしていた際、高さ約1.5mのフォーク上からコンクリート床に墜落したもの。
31	神戸東	2	10月	3時台	運輸交通業	鉄道・軌道・水運・航空業	水運業	はさまれ、巻き込まれ	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	コンベア	荷揚げのため接岸していた運搬船の荷をベルトコンベアで荷揚中、当該コンベアのベルトとローラーの間に挟まれている被災者を発見したもの。なお、被災者は、この3時間前に故障修理のためローラーに注油作業を行っていた。
32	伊丹	2	10月	16時台	製造業	その他の製造業	機械修理業	飛来、落下	物上げ装置、運搬機械	動力クレーン等	クレーン	出張先にて自走式台車及びセグメントつり上げ用に設置されたホイストのペンダントスイッチを交換する作業を行っていたが、連絡したところ応答がなかったため、現場に駆けつけたところ、自走式台車と台車レールとの間にはさまれた状態で発見されたもの。
33	但馬	2	11月	8時台	建設業	土木工事業	その他の土木工事業	飛来、落下	その他の装置等	用具	玉掛用具	地すべりの復旧工事において、部品20枚（1枚20kg）を現場に搬入するため、車両系建設機械（ドラグ・ショベル）のバケットつり金具にワイヤロープを玉掛けしてつり上げていたときに、玉掛けワイヤロープが外れて直下で荷降ろし準備をしていた被災者に荷が落下したものの。

平成 24 年 死 亡 災 害

件数	署整理番号		災害発生		業 種			事故の型	起 因 物			発生状況概要
	署名	番号	月日	時間	大分類	中分類	小分類	分類項目	大分類	中分類	小分類	
34	伊月	3	9月	14時台	運輸交通業	道路貨物運送業	一般貨物自動車運送業	はさまれ、巻き込まれ	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	トラック	客先に書類を届けるため、客先通用口前の駐車場に車両を停車させ通用口に向かったところ、車両が動き出して建物の一部と車両との間に挟まれたもの。
35	淡路	5	11月	8時台	建設業	建築工事業	その他の建築工事業	墜落、転落	その他の装置等	用具	はしご等	瓦の葺き替え工事において、1階の屋根上で既存の瓦を取外す作業を行っていたところ、被災者が移動はしご付近の軒下の敷石の上に倒れているのを発見されたもの。
36	神戸東	3	11月	11時台	農林業	農業	農業	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等	仮設物・建築物・構築物等	建築物、構築物	公園内の草刈り作業中、擁壁（勾配約75度）の上から、高さ約5.4m下のコンクリート溝に墜落したものの。
37	神戸西	5	12月	14時台	建設業	建築工事業	木造家屋建築工事業	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等	仮設物・建築物・構築物等	屋根、はり、もや、けた、合掌	木造家屋建築工事現場において、移動式クレーンを使用して2階へ材料を搬入中、つり上げていた材料が風の影響で揺れ、2階壁枠上に立っていた被災者が2.45m下の2階床面に墜落したものの。
38	姫路	4	12月	11時台	製造業	パルプ・紙・紙加工品製造業	紙加工品製造業	はさまれ、巻き込まれ	物上げ装置、運搬機械	動力クレーン等	エレベーター・リフト	配達先に設置されているエレベーターの搬器を2階から1階へ下降させようとしたところ、2階床面と搬器の隙間に角材が挟まっており搬器が下降しなかったため、当該角材を取り除いたところ搬器が下降し、搬器の天井部分と2階床面との間に挟まれたもの。
39	姫路	5	12月	11時台	製造業	輸送用機械等製造業	造船業	飛来、落下	その他の装置等	用具	玉掛用具	クレーンを使用して、鉄板の端をクランプで挟みつり上げている時、クランプから鉄板が外れ、操作をしていた被災者に落下し、地面と鉄板の間に挟まれたもの。
40	加古川	8	12月	12時台	その他の事業	その他の事業	警備業	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	乗物	乗用車、バス、バイク	道路工事において片側交差通行の誘導をしていた被災者が、自動車を停車させるために道路上で待機していたところ、走行してきた自動車にはねられたもの。
41	淡路	6	9月	13時台	畜産・水産業	水産業	漁業	おぼれ	物上げ装置、運搬機械	動力運搬機	その他の動力運搬機	魚船2隻で漁を行っていた際、乗船していた被災者が船上から行方不明となった。周辺を捜索したが見つからず、その後、海上で遺体が発見されたもの。
42	出生	2	7月	7時台	製造業	金属製品製造業	その他の金属製品製造業	その他	その他	起因物なし	起因物なし	被災者が出社して来ないため、居室を見に行ったところ、亡くなっていたもの。
43	神戸東	4	12月	20時台	その他の事業	その他の事業	その他の事業-その他	交通事故（道路）	物上げ装置、運搬機械	乗物	乗用車、バス、バイク	高速道路を走行中、スリップして中央分離帯に衝突し、反対側の金網を突き破って法面で横転したものの。